高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌

御遠忌通信

最終号

ごえんきつうしん　第19号

高田教区 宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要

責任者：荷葉　一浩
編　集：御遠忌広報実行委員会
連絡先：真宗大谷派高田教務所
上越市寺町2-24-4 TEL:025-524-3913

御遠忌テーマ　私はどこで生きているのか　～たずねよう真宗の教えに～

教区御遠忌法要を終えて

教区御遠忌推進委員長　北條　賴宗

去る4月18日から24日まで、高田・新井両別院において、教区御遠忌法要が厳修され、4月22日には上越文化会館において「教区記念大会」が開催されました。そして、5月26日の「尾神嶽報尽碑参拝法要」をもって、7年の長きに渡り取り組んでまいりました事業並びに法要がすべて終了いたしました。ご参拝くださいました皆様、誠にありがとうございました。また、御遠忌をお迎えするにあたり、様々な準備に関わっていただいた御遠忌推進委員をはじめ、両別院職員並びに教務所員、教区内の皆様にお力添えいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

満座の儀（4月24日・新井別院）

思い返せば2011年3月、東日本大震災・福島第一原子力発電所事故直後の混乱のさなか、本山では御遠忌法要が勤められ、未だその混乱が収まらない8月、教区では「第一回御遠忌推進委員会」が開催され、本年4月に御遠忌法要をお勤めすることが決定されました。以来、数えきれないほどの会議を重ね、推進委員の皆様と共に7年の歳月を歩んでまいりました。

また、「高田別院大門御修復」「新井別院本堂屋根御修復」を記念事業として、初めて両別院の崇敬（そうきょう）区域を越えて「教区御遠忌」として、教区一丸となって取り組んでまいりました。皆様のご懇念により御修復は無事に完了し、御遠忌をお迎えすることができましたこと、改めて御礼申し上げます。

このたびの御遠忌では、「私はどこで生きているのか～たずねよう真宗の教えに～」という問いかけの言葉をテーマとして掲げてまいりました。法要中はもちろんのこと、各ブロックのお待ち受け大会や、教区の様々な研修会でも一貫してこのテーマに向かい合おうとしてまいりました。その中で、多くの方々からこのテーマの受け取りを聞かせていただきました。非常に興味深かったのは、同じ問いかけの言葉がテーマであるにもかかわらず、お話される方一人ひとりが異なるお話をされたことでした。それは一人ひとりが、この問いかけに自身の経験、学び、さらに言えば、人生が問われたからではないかと思います。そういう意味では、手前味噌ではありますがとても素晴らしいテーマであったと思います。

今回の御遠忌厳修の意味は、単にこれまでの50年の歩みの集大成、ゴールということにとどまりません。それは同時にこれからの歩みのスタートとならなければならないと思います。一人ひとりが、まさしく「出発点に立つ」、このことが、御遠忌をお勤めした私たちの大事な課題であろうと思います。

≪高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要≫　2018年4月18日～21日【高田別院】
4月23日～24日【新井別院】

御遠忌の記録

高田別院

4月18日(水)

・高田別院大門御修復落慶法要
　併修　春の法要
・記念式典
・初逮夜

〈御遠忌特設サイト〉http://takada-kyoku.jp/goenki/　（『御遠忌通信』バックナンバーを閲覧できます）

法話：滋野憲史氏
（第６組善念寺）

法話：渡邉智子氏
（第１組本立寺）

高田別院

４月１９日(木)

・初晨朝
・初日中
・中逮夜
・御伝鈔

法話：藤島　直氏
（第１組圓照寺）

法話：内山真明氏
（第４組養性寺）

法話：居多徳恵氏
（第５組聴信寺）

※門首補佐の鍵役の御出仕

・中晨朝
・中日中
・結願逮夜【御参修(※)】

高田別院
４月２０日(金)

大谷浩之 鍵役

松村大栄 堂衆

法話：老野生淳一氏
（第３組安専寺）

法話：林康一朗氏
（第８組圓性寺）

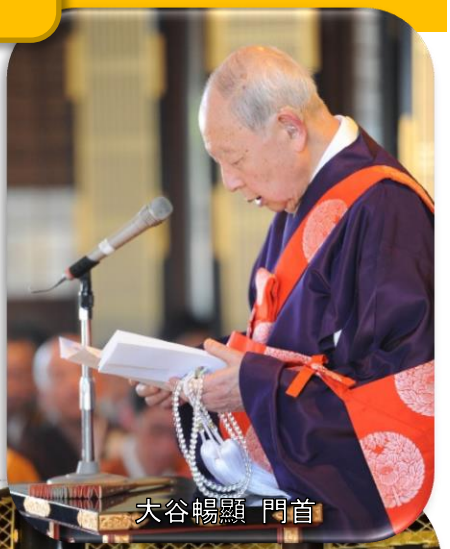
法話：井上　円氏
（第１３組淨泉寺）

高田別院

４月２１日(土)

・結願晨朝
・結願日中【御親修(※)】
・門首のお言葉

※門首の御出仕


大谷暢顯 門首

≪高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要≫　2018年4月18日～21日【高田別院】
4月23日～24日【新井別院】

帰敬式（おかみそり）

４月２１日(土)

挨拶：北條賴宗 教区会議長

挨拶：但馬　弘 宗務総長

司会：石黒裕子氏

門首ご夫妻歓迎の集い

４月２１日(土)

挨拶：荷葉一浩 教務所長

≪高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要≫　2018年4月18日～21日【高田別院】
4月23日～24日【新井別院】

教区記念大会

４月２２日(日)

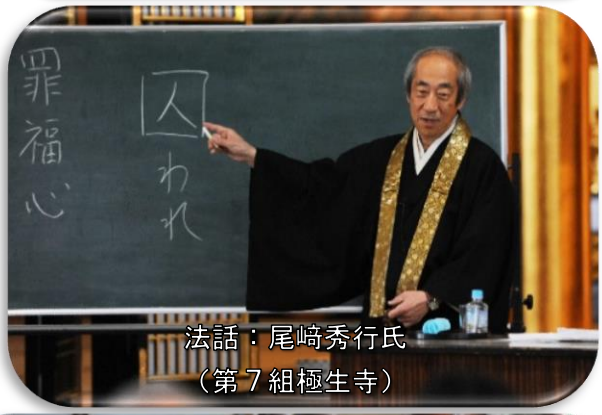
・音楽法要
・伝統声明の紹介（坂東曲）
・記念講演（講師：一楽　真氏）

挨拶：梅田太一氏
（もば建築文化研究所代表）

新井別院

４月２３日(月)

・新井別院本堂屋根御修復落慶法要
　兼　恵信尼公七百五十回忌法要
・記念式典
・結願逮夜【御参修】



法話：尾﨑秀行氏
（第７組極生寺）

≪高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要≫　2018年4月18日～21日【高田別院】
4月23日～24日【新井別院】

法話：豊島　信氏
（第６組西光寺）

・結願晨朝
・結願日中【御参修】
・満座の儀

新井別院
４月２４日(火)

法話：鷲嶺紀文氏
（第８組延壽寺）

高田別院

４月２１日(土)　庭儀（稚児行列）　４月２４日(火)

新井別院

・念珠作り
・おかざり
・おとき
・おつとめ
・スタンプラリー

こどもごえんき

５月１３日(日)

尾神嶽報尽碑参拝法要

５月２６日(日)

法話：岩崎英宣氏
（第１１組專敬寺）

≪高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要≫　2018 年 4 月 18 日～21 日【高田別院】
4 月 23 日～24 日【新井別院】

園児絵画展：高田大谷保育園

ダキシメルオモイ展

園児絵画展：ときわ保育園

小林憲明氏
（ダキシメルオモイ作者）

御旧跡パネル展

展示・販売

非戦平和展

物産展

御遠忌グッズ・出版物販売

仙台仏教青年会による売店

音楽法要の練習

決起集会（２０１８年３月９日）

立華のようす

救命講習

舞台裏

受付（高田別院）

駐車場係

門首新井別院参拝（４月２２日）

接待係（新井別院）

接待係（高田別院）

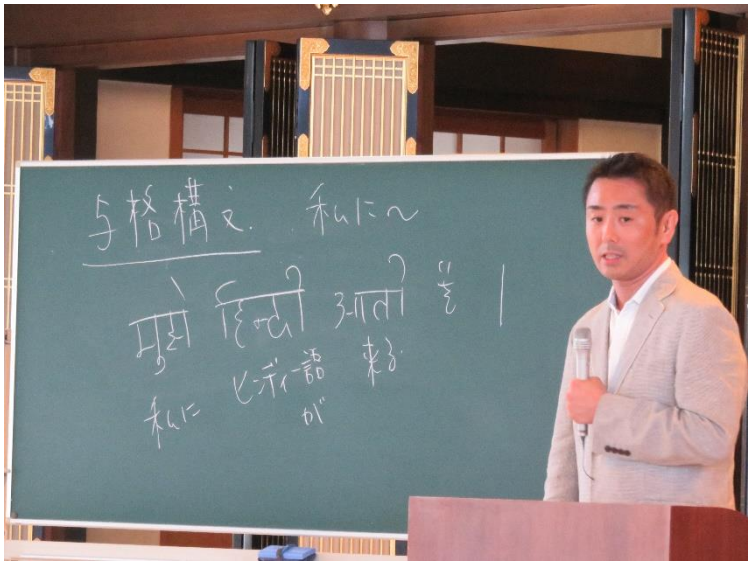
蝋燭の準備

後堂のようす（新井別院）

≪高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要≫　2018年4月18日～21日【高田別院】
4月23日～24日【新井別院】

御遠忌讃仰講演会開催

去る5月24日、高田別院本堂において教区御遠忌讃仰講演会として中島岳志氏（真宗大谷派教学会議教学員・東京工業大学教授）による講演会が開催された。講題は「となりの親鸞」で、ご自身の体験を元にこれからの時代に生きる私たちに必要な宗教とは何か、そしてそれを伝えていくお寺の役割についてお話しいただいた。両別院の御遠忌法要厳修から1ヵ月後であったが、多くの方が参加され、熱心に聴講された。



特別懇志金ご進納企業

高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌特別懇志金をご進納いただき誠にありがとうございます。

ここに、ご進納いただいた企業をご披露し、御礼にかえさせていただきます。

㈱新潟ビーエス観光　永田印刷㈱

以上2社

＊＊完納御礼＊＊

5ヵ年度の長きにわたって、高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌懇志金をご進納いただき誠にありがとうございました。

ここに、ご完納いただきましたご寺院名をご披露し、御礼にかえさせていただきます。

第1組　西光寺
第7組　専念寺
第8組　本覺坊

（2018年2月1日～6月30日）

以上3ヵ寺

なお、右記を含め完納寺院数は279ヵ寺でございます。また、それ以外にも7ヵ寺から懇志金をご進納いただき、収納総額は2億6528万5689円（御依頼額の102・4％）です。収納総額のうち特別懇志金として、2411万2289円のご進納をいただきました。

ひと休み

▼御遠忌通信の最終号をお届けします。教区挙げての御遠忌をお勤めするため、各種情報を提供してまいりましたが、その目的が果たされたかどうかは疑問の残るところですが▼「ひと休み」は、通信の編集を終え、やれやれの気持ちと同時に、何事も立ち止まって見直す必要があると感じて、名づけました。常に面倒くさがる私は、立ち止まり続けていましたが、他の広報実行委員のおかげで通信を発行することができ感謝しています▼御遠忌は記念事業や法要を立派に勤めて終わりでなく、その後の歩みを始める機縁としなくては、と言われます。そのとおりですが、やっぱりひと休み、ふた休みしたくなります▼通信を発行しながら、まだまだテーマが周知されていないと感じています。今後いろいろな方法で広がればと思いながら最終号とします。

（岩崎　修）